

CBI 学会 2021 年大会 スポンサーセッション SS-01

ゲノム医療・創薬分野における A I / 自然言語解析を用いた論文調査の効率化

株式会社 ジー・サーチ

2021 年 10 月 26 日 (火) 13:00 - 14:30

弊社株式会社ジー・サーチは、医療分野における文献調査を AI 技術の導入により大幅に効率化する「JDream SR (ジェイドリーム エスアール)」のサービス提供を昨年 12 月より開始いたしました。本セッションでは、「JDream SR」サービスの概要、技術基盤及び実用イメージについて紹介させていただきます。

ゲノム医療の文献・データベース調査を効率化する人工知能技術

森田 一 (富士通株式会社)

個別化医療における治療方針の決定には論文やデータベースから情報の収集・解釈が必要となる。手作業で文献やデータベースを調査する負担は大きく、短い時間で効率的に情報の収集・解釈を行うため、人工知能技術をどう活用するかが課題となっている。ここでは、二つの人工知能技術について紹介する。一つ目は、文献を自動的に解析することで意味的な検索機能を提供し、文献調査を補助する自然言語処理の技術。二つ目は、データベース等に記載がない VUS の解釈を補助するため、臨床的意義を推定し、その根拠を提示する技術である。

医療分野における論文調査を効率化するサービス「JDream SR」

井上 和仁 (株式会社ジー・サーチ)

JDream SR は AI を活用し、膨大な医学薬学論文から、重要用語（疾患、薬剤、遺伝子、アウトカム指標など）や重要エビデンスを抽出することで、様々な機能を実現している。今回は JDream SR の既存機能と今年リリース予定の機能について、紹介する。その中でも特に、論文検索結果の全体像を俯瞰的に把握する集計機能を紹介する。

サービスの詳細は下記サイトをご覧ください。

https://jdream3.com/lp/jdream_sr/

JDream SR によるゲノム医療・創薬向けの文献検索の活用イメージ

北島 正人 (富士通株式会社)

ゲノム医療において、診断、予後予測、治療や研究を行う（例えば、ある遺伝子異常に対する医薬品の効果など）上で、過去の事例やエビデンス情報などについて、論文を調査するケースがある。これらの論文調査を行うにおいて、JDream SR を活用することで、目的の論文を効率よく検索し、エビデンスなどの詳細情報や関連情報などを簡単に確認することができる。本発表では、新機能としての集計機能などを活用して、ゲノム医療・創薬向けのユースケースを想定して、JDream SR の活用イメージについて紹介する。

「がんゲノム医療」分野の文献調査を AI がアシスト

AI を活用した目的特化型検索サービス JDream SR は、遺伝子名・変異名・疾患名・医薬品名等の医療用語と、それらの関係性を用いた効率的な論文検索により、がんゲノム医療分野の文献調査を効率化します。



サービスページは
こちら

見つける

AI が論文ビッグデータを解析し、目的・疾患と医薬品などの関係性を反映して抽出。欲しい論文に速やかにたどり着けます。

把握する

富士通の独自技術によって、高度な専門分野の情報解析を実現。医薬品と遺伝子変異の関係性やアウトカムを容易に把握できます。

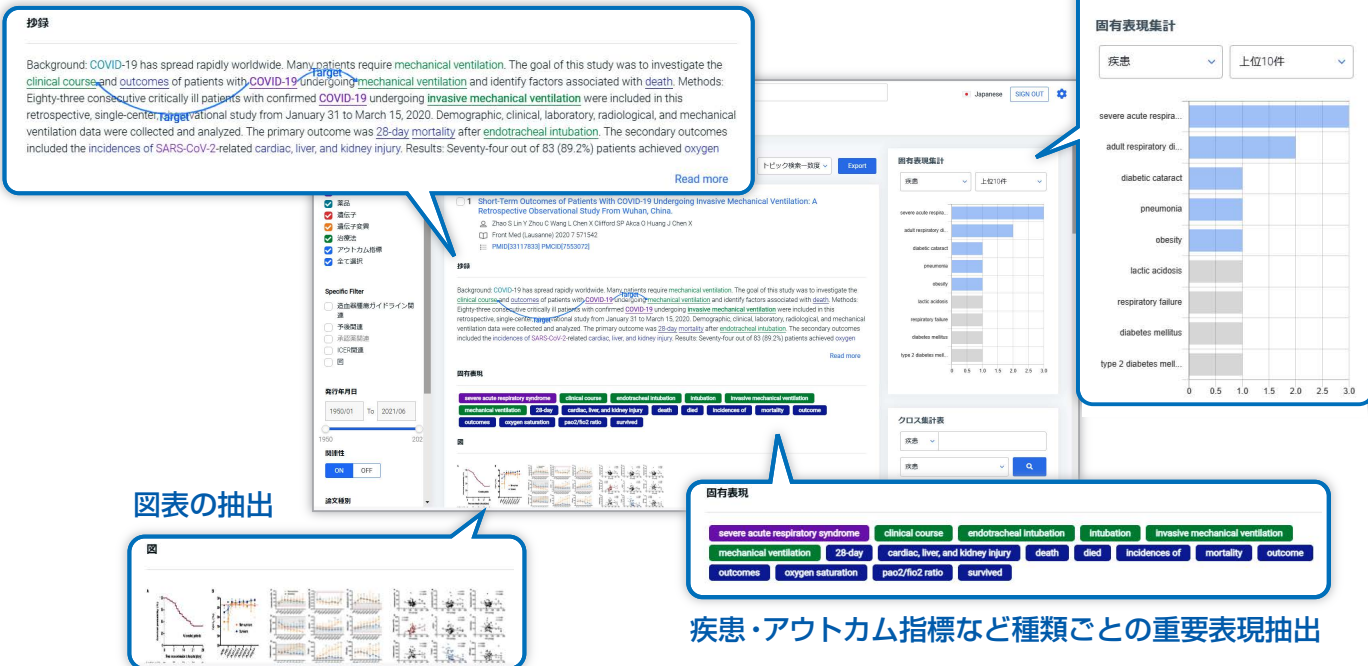
調査時間削減

医療分野に特化した形式で結果を確認できるため、これまでの文献調査に比べ時間を大幅に短縮できます。

医療分野に特化したサービスならではの使いやすさ

疾患と治療法、疾患と遺伝子など関係性の指定、矢印によるリンク表示

自動集計機能



疾患・アウトカム指標など種類ごとの重要表現抽出



ゲノム医療におけるキュレーションを支援

「この遺伝子変異がある場合に有効な医薬品を探す」、「ある疾患に対して病原性を示す遺伝子変異を調査する」など、関係性を用いた効率的な文献検索により、ゲノム医療に欠かせないキュレーション業務を支援します。

【お問い合わせ】

株式会社 ジー・サーチ

Email : gsh-jd-help@cs.jp.fujitsu.com

お問い合わせフォーム : https://jdream3.com/inquiry/inquiry_entry.php